

(様式1)



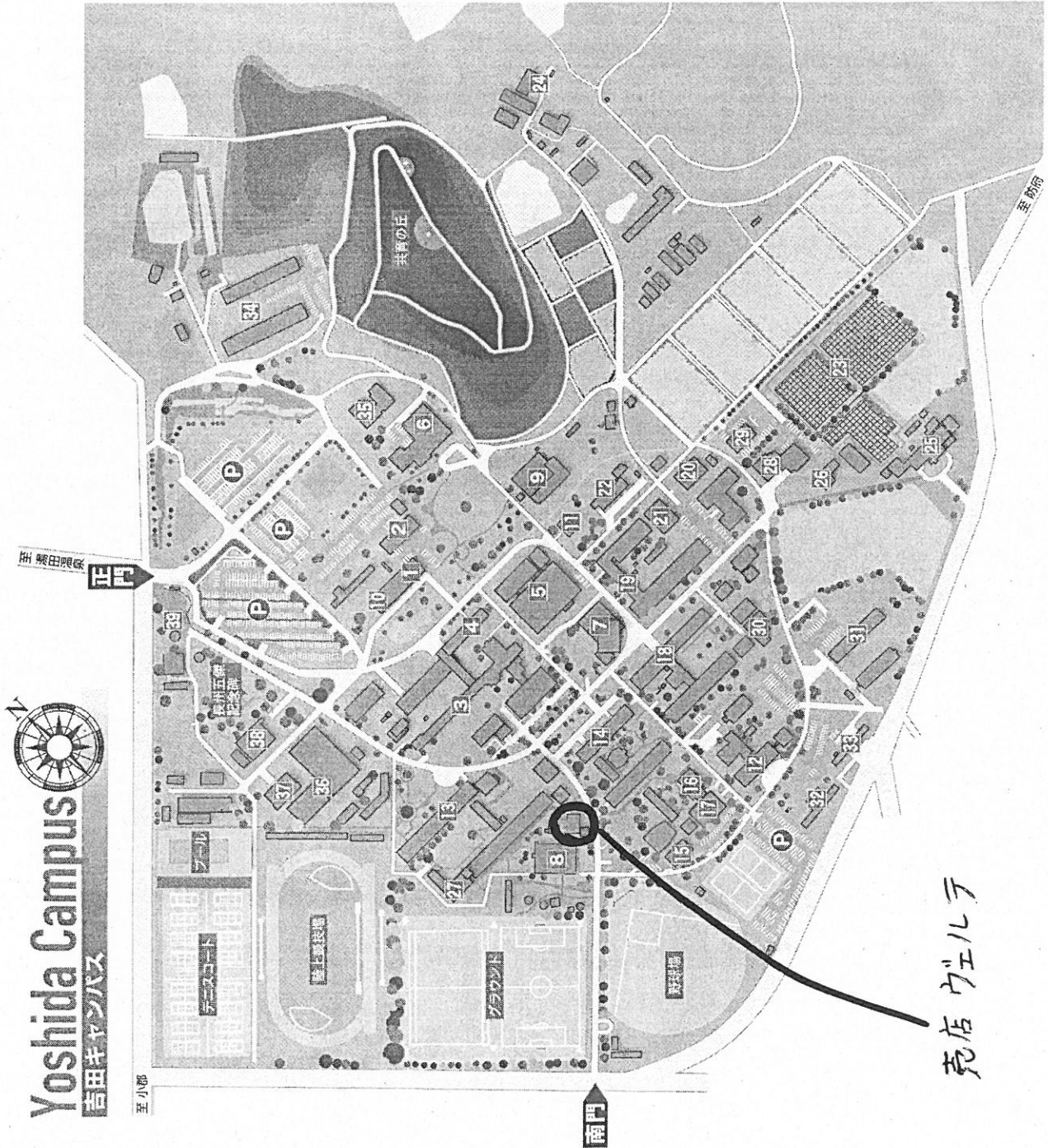
山口市

報道資料

令和2年7月13日

1 件 名	海洋プラスチックごみ対策の周知啓発実施
2 日 時	令和2年7月20日(月) 11:30~12:30
3 場 所	山口大学 吉田キャンパス内の売店「ヴェルデ」前 (第1学生食堂「ボーノ」(別添地図8番)の右隣)
4 内 容	<p>山口大学生生活協同組合がプラスチックごみ削減のため、本年7月から開始された「弁当容器のデポジット制度」*1 に併せまして、売店「ヴェルデ」前で来店者へ啓発物を配布し、海洋プラスチックごみ削減*2 への協力について周知啓発を行います。</p> <p>*1 山口大学生協の食堂で製造された弁当で、フィルムをはがせる容器が弁当容器デポジット制度の対象です。食後に弁当容器の表面に貼られているフィルムをはがし、残ったプラスチック容器を大学生協のレジに持ち込むと、容器1個あたり 5 円が学生証及び職員証付帯機能の電子マネー「CHORUCA」(ちよるか)にチャージされます。回収された使用済み容器は、粒状のペレットに加工され、新たな容器の製造に使われます。</p> <p>*2 近年、世界的な環境問題となっている海洋プラスチックごみ問題について、国はプラスチックを有効利用することを前提としつつ、新たな汚染を生み出さない世界の実現を目指して、国としての具体的な取組を徹底していく「海洋プラスチックごみ対策アクションプラン」を策定し、プラスチックごみの削減を推進しています。</p> <p>山口市では国の「プラスチック・スマート」キャンペーンに参加して、プラスチックの発生抑制の啓発をはじめ、適正な循環的利用や回収などの対策に取り組んでいます。</p> <p>※報道関係者が大学構内に入られる場合には、下記の大学広報担当へ事前に御連絡願います。 山口大学 総務企画部 広報室 広報担当：新井 様 〒753-8511 山口市吉田1677-1 TEL 083-933-5319 E-mail sh011@yamaguchi-u.ac.jp</p>
5 問い合わせ	山口市 環境部 環境政策課 (担当:野村) TEL 083-941-2180

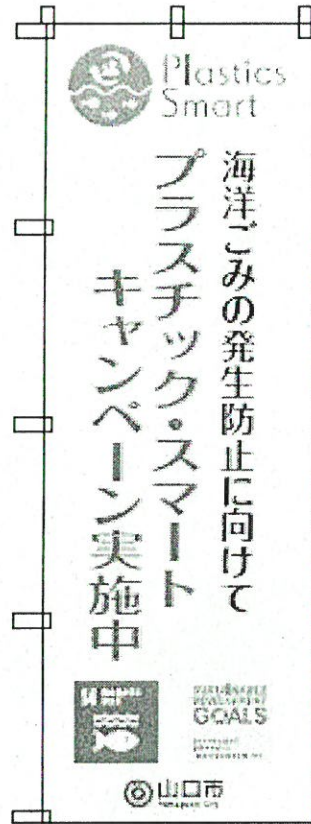
- 1 事務局 1 号館
- 2 地域未来創生センター
- 3 山口学研究センター
- 4 事務局 2 号館
- 5 共通教育棟
- 6 大学教育センター
- 7 アドミッションセンター
- 8 留学生センター
- 9 学生支援センター
- 10 総合図書館
- 11 学生会館
- 12 (放送大学山口学習センター)
- 13 福利厚生施設 [FAVO]
- 14 第 1 学生食堂 [ポーノ]
- 15 第 2 学生食堂 [きらら]
- 16 保健管理センター
- 17 埋蔵文化財資料館
- 18 人文学部
- 19 教育学部
- 20 経済学部
- 21 東アジア研究科・経済学研究科棟
- 22 東亜経済研究所
- 23 商品資料館
- 24 理学部
- 25 農学部・共同獣医学部
- 26 獣医学国際教育研究センター (ICOVER)
- 27 獣医学研究科棟
- 28 中高温微生物研究センター
- 29 附属農場
- 30 大動物教育研究棟
- 31 附属動物医療センター
- 32 総合病性鑑定研究施設
- 33 国際総合科学部
- 34 総合研究棟
- 35 システム生物学・RI 分析施設
- 36 機器分析実験施設
- 37 梶野寮 (女子)
- 38 山口国際交流会館 1 号館
- 39 山口国際交流会館 2 号館
- 40 吉田寮 (男子)
- 41 O-HARA
- 42 山口大学就職支援施設
- 43 第 1・2 体育館
- 44 第 1 武道場
- 45 第 2 武道場
- 46 守衛所



Yoshida Campus
 吉田キャンパス

売店 ウェルテラ

・のぼり旗



・啓発グッズ (マグネットシート) 縦9 cm×横6 cm



プラじゃない方を、
選ぶー

COOL CHOICE
キャラクター
「選ぶー」



海洋プラスチックごみは、無くせます。

スーパーやコンビニのレジ袋、ペットボトル、弁当や惣菜の容器、ストロー。

私たちの暮らしを便利にしてくれるプラスチックですが、

それが海洋プラスチックごみになり、

自然環境や生物に悪影響を及ぼすことが、地球の問題になっています。

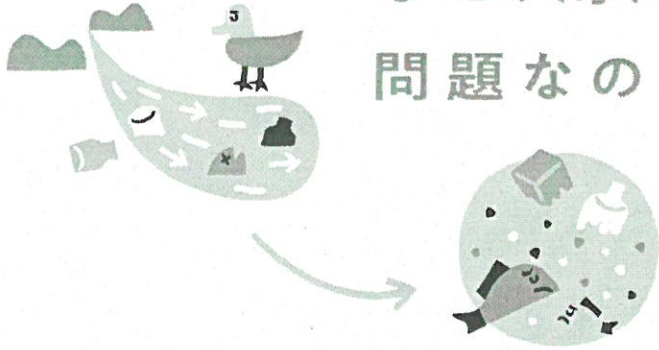
解決につながるのは、あなたの“考えて選ぶ”行動です。

環境にかしこい選択



YAMAGUCHI 山口市

なぜ、海洋プラスチックごみは問題なの？



リサイクルされずポイ捨てされたごみは、どうなるでしょう？

雨や風で流され、河川そして海へ運ばれます。

その一部は流される間に細かく砕かれて、

大きさが5mm以下のマイクロプラスチックになり、

魚などがエサと誤って食べてしまうことも。

プラスチックごみは、海の環境、生態系、漁業などに

悪影響を与えてしまうのです。



環境にかしこい選択

COOL CHOICE



私たちに何ができる？

プラスチックをまったく使わない生活は難しいですが、海洋プラスチックごみを減らすことはできます。

普段の暮らしでできること

ごみにしないで、
ちゃんと
リサイクルするぞー



- 買い物には、マイバッグを使う
- 詰め替え製品を選ぶ
- ワンウェイ(使い捨て)プラスチックは使い終わったらリサイクル
- 地域の清掃活動などに参加する

小売店、飲食店でできること

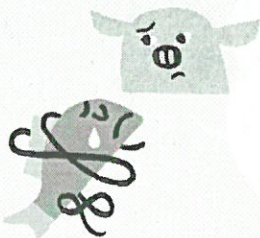
- お客さまに、ストローやレジ袋が必要かを聞く
- マイボトル、マイバッグを推奨する

レジで
聞いてくれると、
「要りません」と
言いやすいぞー



企業、農業者、漁業者にできること

ごみになった
魚網に、
海の生き物が
からまって
苦しんでるぞー



- 代替素材の利用促進
- 生分解性プラスチックの利用促進
- 漁具の適正な管理